



令和4年度に引き続き、今年度も特別支援教育だより『Ciao!!』を発行しております。不定期の発行ですが、学校から御案内したいことや宇都宮市からお知らせがあった時などに発行したいと思います。

今回のお便りはNo.6です。昨年度1年間の記事、および前号の特別支援教育だよりNo.1～5（過去記事）は昭和小 HP に掲載されております。お手すきの時にお目通しいただきましたら幸いです。 **携帯・PC用のQRコードはこちらです**📱



通級指導教室ってなあに？

通級による指導とは何でしょうか。耳にしたことがあったり、お友達が通っていたり…でも具体的に何かなんとか分かりにくい。そんなうちの方のためにこの記事を書かせて頂きました。

通級指導教室とは、現在通常の学級に在籍しているお子さんで、ことばに何らかの問題を抱えていたり、注意集中が困難で学習に支障をきたしていたりする場合に、転校することなく、通級指導教室のある学校に出向いて専門的な個別指導（指導要領の「**自立活動**」にあたる内容）を受けるものです。

週1～3単位時間程度（1単位時間は約45分）の指導で、通級している間は、在籍校の授業を受けなくても欠席や早退にはなりません。通級指導教室の担当者は担任との連携を密に図りながら指導に当たります。

通級指導教室では子どもたちの学習や生活上の困難な状態の改善と克服のための指導を中心に行います。お子さんの困難な状態に応じて [言語障害通級指導教室](#) と [自閉症・注意欠陥多動性障害通級指導教室](#) の2種類の通級指導教室が宇都宮市にはあります。



【言語障害通級指導教室（ことばの教室）】

○対象となる子

ことばに何らかの問題を抱えている子。

① 構音障害（発音の問題）

- ・「さかな」を「タカナ」のように子音を他の音に置き換えて話す。など

② 吃音

- ・卵を「タ、タ、タマゴ」のように繰り返して話す。など

③ ことばの遅れ

- ・ことばがつながらない。
- ・話したり理解できたりすることばの数が少ないようだ。などなど・・・

【自閉症・注意欠陥多動性障害通級指導教室】

○対象となる子

現在通常の学級に在籍し、知的な遅れはないにもかかわらず多動・注意集中困難など行動上の問題により、集団適応や教科学習に支障をきたしている子。

- ・集中して話を聞くことが苦手。
- ・気になると、ぱっと出歩いてしまう。
- ・少しのことで怒り、パニックを起こしがち。
- ・みんなと同じ行動をすることが苦手。
- ・整理、整頓が苦手で、忘れ物、紛失物が多い。
- ・友達とトラブルになりやすい。などなど・・・

これからの人生、もっともっと広い世界に出て、適応して、たくさんの人たちと関わって生きていかなければならないお子さまが、より生きやすく、より楽しい学校生活を送るためのスキル（指導要領「**自立活動**」にあたる内容）について学べる有意義な時間、それが通級指導教室です。

通級による学びはお子さんの学校生活をより

円滑に、穏やかに、幸せにしてくれるに違いありません。もし、お子さんにこのような似た傾向が顕著に表れている場合、それはお子さんからの苦しさ、助けを求める声の現れかもしれません。

詳しくは、「宇都宮市教育センター相談室」(TEL 639-4381)にお問い合わせ下さい。またはスクールカウンセラー、担任の先生、SCM 渡邊までいつでもお気軽にご相談ください。

ルールも守れないしお片付けもしない我が子・・・

「うちの子が言うことを聞かなかったり、気に入らないことがあると暴れてしまったりするのは、私の育て方が悪かったのでしょうか。こんなにも愛情を注いでいるのに愛情不足でしょうか。毎日毎日、自分を責めてしまいます・・・。」

以前勤めていた学校で、うちの方から相談を受けました。保護者の方と協力し、接し方を工夫したところ、早期に改善が見られました。診断はされていませんでしたが、ルールを守れず、身の回りの片付けが難しいといった行動



を繰り返す ADHD (注意欠陥多動性障害) の傾向の強いお子さんでした。

ADHD の症状と愛着障害には似て非なるものがあります。双方に共通する行動から違いを見つけ、子供が抱える問題を正しく理解する必要があります。ADHD の診断が出来るのは医師だけです。傾向が強いというだけで、安易に ADHD や愛着障害などと決めつけるのはよろしくありません。へえー、こんな例もあるのね～くらいに参考までにお読みになってみてください。

	お片付け の場面	ルールの遵守 が必要な場面	<u>不適切行動(良くない行動)を 「無視」してみると、その後はど うなるでしょうか？</u>
ADHD (注意欠 陥多動性 障害)	・片づける順番を細かく分解し、スモールステップで行動を支援することで「できる」ようになることが可能。	・「片づけたら気持ちがいい」「片づきたい・片づけよう」という感情や意欲が育っていない。 ・今日はできても翌日はできないなど、経験が積みあがっていない。	○ 良くない行動をしても誰にも構ってもらえないのが分かった。→良くない行動は、もうやらなくなる！一時的に不適切行動が増えても、いずれは不適切行動が消去されていく。
愛着 障害	・守らなければならないという意識があり、守るとポジティブな感情になることを知っている。 ・衝動性や行動コントロールの問題から違反行動をしてしまう。	・守らなければならないという意欲が育っていない。 ・守るとポジティブな感情になることを知らない。 ・ネガティブな感情のコントロールが困難。 ・周囲の注目を集められるため、愛情欲求行動として逸脱行動が生じやすくなる。	× 不適切行動は感情の問題から生じているため、自分の気持ちを分かってくれないという思いを誘発。 →感情を逆なでしてしまう。 →さらに注目を集めようと不適切行動を次々とエスカレートさせる結果を生んでしまう。

「学校と家庭がいっしょに」を合言葉に。保護者は誰よりも子どもの幸せを考えます。特定の学習が困難、一斉指導が通りにくい、集団行動がとりづらい、情緒不安定、不登校傾向、トラブルが多い…その子なりの困り感に合わせた工夫のもとで、その子なりの取組ができ、お子さんが幸せに安心して学校生活を送ることができる、そんな取組のあれこれを、お伝えしていけたらと思います。

発行者：昭和小特別支援コーディネーター・SCM・そよかぜ学級担任 渡邊 由香里

